

道路分野

デザインの方針、配慮事項、仕様等に係るチェックリスト

	記載事項	確認	備考	非該当
デザインの方針	◎ 道路は、都市の骨格であり、街全体の景観の形成に大きな影響を及ぼすことから、「連続性」や「一体感」といったものに十分配慮する必要があります。	□		□
	◎ 主要な幹線道路等においては、ゆとりある道路幅員の確保、街路樹や植栽帯による緑豊かなうおいの演出、シンプルで質の高いデザインの道路付属物の設置などにより、格調ある都市軸の形成を図ります。	□		□
	◎ 住宅地内などの生活道路においては、道路線形の工夫により、歩行者が安心して行き交うことができるよう配慮するとともに、街路樹や植栽帯による緑豊かなうおいの演出、シンプルで質の高いデザインの道路付属物の設置などにより、落ち着いたある沿道空間の形成を図ります。	□		□
	◎ 景観の観点からは、横断防止柵、車両用防護柵、立体横断施設等は最小限度の設置とすることが望ましいことから、緑石、車止め、植栽帯、横断歩道等の設置によっても安全性が十分確保され、かつ、構造的にも許容される場合は、それらの使用に努めます。	□		□
	◎ 道路景観の向上や個性の発揮は、道路付属物を過度にデザインするのではなく、街路樹や植栽を上手に活用することで実現します。	□		□
	◎ 橋梁、立体横断施設、ペDESTリアンデッキ等の道路に付随する大規模な構造物は、様々な周辺状況に調和するよう、シンプルな形態とするとともに、桁下等は、歩行者の見上げの視線を意識したデザインとします。	□		□
【道路付属物】				
配慮事項	○ 様々な周辺状況においても背景として調和するよう、構成部材は直線の組み合わせを基本としたシンプルな形態とします。	□		□
	○ 色彩は、『景観に配慮した防護柵のガイドライン（平成16年3月 景観に配慮した防護柵推進検討委員会）、以下「景観配慮防護柵ガイドライン」という。』を参考に、一義的には、ダークブラウン（10YR2.0/1.0程度）を選定します。ただし、塗装面が比較的大きくなるものについては、グレーベージュ（10YR6.0/1.0程度）とし、さらに、周辺状況等に応じ、ダークグレー（10YR3.0/0.2程度）も使用できることとします。	□		□
	○ 反射材は、光の反射率の高いものを選択する等、景観配慮防護柵ガイドラインを参考とするとともに、色彩については、「デジタル色彩マニュアル（平成16年4月 財団法人日本色彩研究所）」を参考に、視認性が高い白色のものを選択します。	□		□
	○ 屋外照明は、「漏れ光」が生じないよう、器具形状や光の照射状況を考慮するなど、「光害」が生じないよう努めるとともに、周辺地域における明るさや光源色とのバランスを考慮します。	□		□

<input type="checkbox"/>	賑わいを演出する場合や植栽を鮮やかに浮かび上がらせようとする場合などを除き、屋外照明は、演色性が高く、色温度の低い暖かみのある光源の使用を検討します。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	長期的な維持修繕を考慮し、交換等のメンテナンス性に優れた部材を選定します。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<b>【標識及び案内サイン】</b>				
<input type="checkbox"/>	可能な限り形態意匠、高さ等を揃えるとともに、集約化に努めるものとします。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	案内サイン等は、過剰な色使いやイラストの表示、周囲から浮き立つデザインを避け、シンプルでわかりやすい表示を心がけます。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	標識柱及び標識板は、裏面を落ち着いた色彩にするといった、周辺景観との調和に配慮します。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<b>【植樹及び植栽】</b>				
<input type="checkbox"/>	幹線道路等の幅員に余裕のある道路では、都市における緑の軸の形成を目指し、密度のある並木を設けることを検討します。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	中央分離帯、交通島は交通安全上に支障のない範囲での緑化に努めるとともに、植樹する場合は、歩道側の植樹との一体性を考慮して樹種を検討します。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	中心市街地等では、建築物による圧迫感や屋外広告物による煩雑さに対し、高木や厚みのある中低木の設置により緑の緩衝帯を形成するよう努めます。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	歩行者の目を楽しませる、四季の移ろいを演出する樹木や草花を積極的に配置するよう努めます。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<b>【舗装】</b>				
<input type="checkbox"/>	アスファルト舗装は、黒色を基本とし、着色する場合は低明度又は低彩度のものを採用します。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	自転車通行の安全確保等のために、青色、緑色、赤褐色等のカラー舗装をする場合は、低明度又は低彩度のものを採用します。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	舗装は、場所性を踏まえたシンプルなデザインとするとともに、官民境界の識別のし易さを考慮した上で、可能な限り一体感の創出に配慮し、舗装の材料や色彩等を検討します。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<b>【橋梁】</b>				
<input type="checkbox"/>	桁側面や橋脚は軽快なデザインとするとともに、橋脚と桁の接合部や配管の取まり等、桁下からの見え方に配慮します。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	橋梁上の付属物は、華美なデザインを避けます。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	欄干は、河川等への見通しを阻害しないよう、できるだけ視線を遮らないようなデザインとします。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

【立体横断施設】			
<input type="checkbox"/>	構成部材は直線の組み合わせを基本としたシンプルな形態とし、どのような背景にも調和するよう配慮します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	防犯性や歩行者の見上げる視線を意識して、橋脚、桁、階段部、桁裏、階段裏、配管等は高明度かつ低彩度の色彩を、橋梁欄干部は低明度かつ低彩度の色彩とすることが望まれます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	橋梁欄干部の下部壁材については、覗き見防止や背後の存在がわかるよう、半透明の素材とすることが望まれます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【駅前広場デッキ、ペDESTリアンデッキ】			
<input type="checkbox"/>	下部のデザインはシンプルで軽快な印象となるよう桁カバの設置、照明施設の一体化などを工夫するとともに、条件的に許容される場合は、デッキがバスシェルターの上屋等の役割も果たすような設計を検討します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	防犯性や歩行者の見上げる視線を意識して、橋脚、桁、階段部、桁裏、階段裏、配管等は高明度かつ低彩度の色彩を、橋梁欄干部は低明度かつ低彩度の色彩とするよう配慮します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	橋梁欄干部においては、他の地点からの視界の抜けを考慮し、直線を基調としたシンプルなデザインとするとともに、下部壁材については、覗き見防止や背後の存在がわかるよう、半透明の素材とすることが望まれます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	デッキ上部で使用される部材等については、周辺と統一性が感じられる素材となるよう配慮します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【その他】			
<input type="checkbox"/>	擁壁は、凹凸のある表面仕上げや形態意匠上の分節化による圧迫感の軽減や、擁壁前面の緑化、法面植栽等による潤いのある景観の形成に配慮します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	分電盤等の地上機器は周囲に調和するよう、落ち着いた色彩を採用します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	高架している道路は、桁下空間が暗く、圧迫感を感じさせることがないように、桁裏は高明度かつ低彩度の色彩とするとともに、排水管等の付属物は目立たないようにする等の配慮をします。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	交差点では、様々な道路付属物等が設けられるため、それらが乱立せず、デザイン的な調和をするよう配慮します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

標準仕様	○ 横断防止柵	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	○ 車両用防護柵	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	○ 転落防止柵	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	○ 車止め	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	○ 照明	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>